

■常磐津文字太夫(初世) 浄瑠璃太夫。豊後節で大当たりも禁止となり。常磐津節を創始，劇舞踊流行の存続に寄与。

ときわずもじたゆう

徳川綱吉没・1709＝ 京都寺町の生れ。

徳川吉宗將軍1716＝ 7歳：

御蔭参流行・1718＝ 9歳：

位牌商であつたが，

__宮古路国太夫(のちの宮古路豊後掾)の門弟(のちに養子)となり，宮古路文字太夫と名のる。

・・・・・・1727＝18歳：

享保大飢饉・1732＝23歳：

・・・・・・1734＝25歳：__豊後掾が名古屋滞在ののち江戸に下つたので，文字太夫は京から江戸へ直行し，
*葺屋町河岸播磨芝居，
昆陽蕃諸考・1735＝26歳：__中村座の「陸月連理口」で師の脇を勤める。いずれも大入りで大当り。以後豊後節は江戸で大流行したが，
悪鋳再開・1736＝27歳：__市村座の文字太夫の「小夜中山浅間嶽」に上演中止の沙汰が出され，

ヰシ船出没始 1739＝30歳：*豊後節は一切禁止となった。
__豊後節禁止後も文字太夫は江戸に留まり再起の機会を狙っていたが，

・・・・・・1743＝34歳：__豊後節復活運動が功を奏して，
__中村座に脇志妻太夫，三味線佐々木幸八で出演した。
同門の綱太夫，加賀太夫，数馬太夫らもそれぞれ独立したが，文字太夫は自身の門弟のみで，

徳川吉宗隠居1745＝36歳：__豊後掾の七回忌に追善の石碑を浅草に建て，豊後掾の正統な後継者であることを内外に示し，
菅原伝授十・1746＝37歳：__豊後掾の七回忌に追善の石碑を浅草に建て，豊後掾の正統な後継者であることを内外に示し，
義経千本桜・1747＝38歳：*豊後節に工夫を加え一流を創始し関東姓を名のつたが，幕府から差し止められ常磐津と名のる。

__江戸三座を中心に活躍し，
徳川吉宗没・1751＝42歳：

山脇東洋解剖1754＝45歳：

大岡忠光没・1760＝51歳：

・・・・・・1763＝54歳：

錦絵始・・・・1765＝56歳：__中村座の「蜘蛛の糸」はその代表曲である。

田沼意次老中1772＝63歳：

黄表紙始・・・・1775＝66歳：*森田座での「樹花恋浮船(茶筌壳)」を最後に隠居し，

・・・・・・1781＝72歳：__没した。